発行所／一般社団法人 ジェネティクス北海道
発行人／石村 正志　令和元年7月16日

Sire サイア

Vol.437
7月

CONTENTS

2 種雄牛センターだより
4 現場レポート（乳） 規模拡大する酪農畜産農家の強い味方！！
～将来のビジョンが溢れて止まらない敏腕社長が経営するキムラファームを訪ねて～
7 2019年北海道ブラック&ホワイトショウ
8 注目のカウファミリー 第40回 ロツクウ ボンバー ガール ET VG-85
10 はんしょく学ノート 第16回 卵胞ウェーブ（補遺）
妊娠・黄体期の発情と卵胞嚢腫
13 ☆食レポ☆ ケーキとクッキーのお店 あとりえYOU
14 JAAB生涯能力優秀娘牛表彰
15 新規種雄牛の紹介（肉） H黒-319拓忠平・H黒-321博紅葉



「バーチヒル スパークリング ミツキー」
5月11日(土)に訓子府で開催された「2019北見ブラック アンド ホワイト シヨウ」にて、「3歳経産シニアクラス」に出品され、1位を獲得した「バーチヒル　スパークリング　ミツキー」号と出品者の渡辺重明氏(訓子府町)です。

画：冨田 美穂　HP「牛の木版画と絵画」 http://miho-tomita.jimdo.com/
ブログ「うしのつむじ」 http://usinotumuji.blog28.fc2.com/

道央種雄牛センターってどんなところ?

今回の種雄牛センター便りは、元号も「平成」から「令和」に変わり、新しい時代の節目ということで、改めて道央種雄牛センターについて紹介します。

◆ 概要

●職員数：13名（うち女性3名）

●種雄牛頭数：ホルスタイン種47頭　黒毛和種39頭　台牛4頭　合計90頭（6/30現在）

●平成30年度年間凍結精液生産本数：550,420本

◆ 施設紹介

道央種雄牛センターは札幌市の隣、北広島市西の里に位置します。現在使用している施設は、当時の(株)ジャパン・ホルスタイン・ブリーデング・サービス（JHBS）が建設したものを引き継いでいます。

牛舎は、JHBSが昭和60年に16頭収容牛舎を建設した事から始まり、昭和62年に15頭分を増築、平成2年には当時の種雄牛繋養方式としては珍しい、北米の人工授精所で採用されていたタイストール式80頭収容牛舎を建設しています。その後、平成4年に牛舎を増改築し収容頭数は138頭になります。翌年には現在の事務所と精液保管室を建設、平成9年には老朽化した牛舎の補修工事と独房式牛舎を建設し収容頭数は146頭に拡大しています。

平成13年4月1日JHBSの家畜人工受精部門と社団法人北海道家畜改良事業団が事業統合し「ジェネティクス北海道」が誕生したことをきっかけにタイストール式80頭収容牛舎を独房式和牛牛舎へ改築し現在の収容頭数は101頭となっています。統合当初、当センターと道央広域事業所は事務所を共有していましたが、平成22年国内での口蹄疫発生に伴い、防疫面を強化すべく道央広域事業所は現在地へ移転しています。


消毒ゲート


道央種雄牛センター事務所


名牛クリスタン像


牛舎外観(現在)


平成9年建設独房式牛舎(現在)


改築後の独房式和牛牛舎（現在）


保管室には大型タンクが並ぶ


タイストール式80頭収容牛舎(JHBS時代)

◆ 繋養中の種雄牛たち

当センターに繋養されている黒毛和種は、当団の代表種雄牛『H黒-187勝早桜5』『H黒-226梅栄福』『H黒-246第1花藤』をはじめ、期待の若手


H黒-226梅栄福


期待の種雄牛H黒-277勝美糸

種雄牛・候補牛が39頭繋養されています。また、新規候補牛の導入を年間約15頭行い、導入後は年に2回（春・秋）開催の種雄牛造成検討委員会によって後代検定事業対象牛が選ばれます（それぞれ4頭、年間8頭）。その後、凍結精液生産を行い検定成績の判明を待ちます。


導入後の新規候補牛


造成検討委員会の様子

ホルスタイン種については、現在供用中の『JP3H56191サンダーバード』『JP3H56451ナツクルボーイ』をはじめ、後代検定成績の判明を待つ待機種雄牛、後代検定用精液を生産する調整交配牛が合計47頭繋養されています。性選別精液の生産を行う主力のホルスタイン種は十勝清水種雄牛センターで繋養しているため、当センターでは黒毛和種の精液生産をメインに行っています。また、種雄牛の他に精液採取には欠かせない台牛（ヘレフォード種2頭・去勢した黒毛和種2頭）も繋養しています。ヘレフォード種は足腰も強く基本的に温厚な性格なため台牛として重宝されています。また、去勢した黒毛和種達も種雄牛にはならないものの、温厚な性格とヘレフォード種と比べて小柄な体格なため、若い種雄牛たちの台牛として活躍しています。


JP3H56191サンダーバード


待機牛たち


ヘレフォード種台牛

◆ 過去に繋養していた種雄牛たち

写真の他にも、『HB-8114ルーテル』『H-3262アデイダス』『H-3333アシリー』『JP3H51825トレビノ』『JP3H52254デニス』『JP3H52276ビツグ　ガイ』『JP3H53440ネオ』『H黒-79北神高』『H黒-80北平安』『H黒-82北金波1』『H黒-125北勝隆25』『H黒-132国牽白清』など過去に活躍した種雄牛たちが数多く繋養されていました。


JP3H03479ジエスロ


JP3H51676タイタニツク


JP3H53010ラウンドアツプ


JB-3福富（撮影時23歳）


JB-7七福神


JB-24北乃大福

最後に、これまで当センターで繋養されていた種雄牛の一部を紹介しましたが、ここには書ききれないほどの種雄牛がいました。中には乗駕するのに1時間以上かかる牛や、台牛に乗駕させ左側からでなければ精液を採取できない牛、ホルスタイン種のことが気に入らず頭突きをしてしまう黒毛和種など、一癖も二癖もある牛がいた事を思い出します。みなさんも何かの機会に彼らの事を思い出していただけたら幸いです。

（道央種雄牛センター　福地　元）

規模拡大する酪農畜産農家の強い味方!!

～ 将来のビジョンが溢れて止まらない敏腕社長が経営するキムラファームを訪ねて ～



【恵庭市について】

恵庭市は札幌市と新千歳空港のほぼ中間に位置し、恵まれた交通アクセスと穏やかな気候風土を持つ町で、早くから住宅整備を進めるとともに、公共下水道や大学・専門学校、工業団地などの都市基盤の整備が進められ着実に人口が増えている市です。市名の由来は、アイヌ語の「エエンイワ」(現在の恵庭岳を指し、鋭くとがった山という意)から転訛されてきたと言われています。

そんな恵庭市に位置し、牧場の規模拡大化が急速に進む酪農畜産農家の心強い味方である預託・育成牧場を営む、農業生産法人 キムラファーム株式会社を取材させていただきました。

【現在のキムラファームについて】



マークを社長が考えた看板



事務所と木村清一社長

農業生産法人　キムラファーム株式会社（以下、キムラファーム）は現在、代表取締役の木村清一社長、従業員7名、パート2名で全国各地からの預託牛1,400頭を育成しています。牧草地は120ha、デントコーン・グラスサイレージは北海道内から購入しています。また6次産業化の一環として恵庭市内の福祉施設に堆肥と畑を提供し、その堆肥を使用して野菜を作って福祉施設の前で露店販売を行う代わりに、福祉施設の方が週5日牛舎清掃としてキムラファームへ出勤しています。来年2月には新たに1,100頭入る牛舎が完成しますが、もう予約で一杯という今後ますます期待される預託・育成牧場です。

現在の預託・育成の流れは、6か月齢の牛がキムラファームへ導入される→12ヶ月齢～16ヶ月齢になったら3回までの受胎補償で自家産の黒毛和種体内受精卵を移植する(全てプログラムを組む)→受胎しなかった場合はAIを行う→分娩2～3か月前に元の牧場へ戻す。という流れになっています。ただ初回移植時期はお客様の要望や地域によって差があるようで、関東・関西圏は月齢が早い段階での移植が好まれ、九州はフレームをしっかり作りたいということで遅めの移植の依頼が多いようです。中には16ヶ月齢での移植もあります。自家産の黒毛和種受精卵は毎週木曜日に80頭のドナーの中から3頭ずつ採卵を行い、全て新鮮卵で移植し受胎率は60%～70%を維持しています。一方発情に合わない牛に関しては凍結卵を移植しています。ドナーの血統は毎月更新して新しい血液を入れるように心がけています。また新たな試みとして、酪農学園大学と提携を結び、毎月28日間隔で同じドナーで採卵を行いどこまで受精卵を確保できるか挑戦しています。長い牛では6か月連続での採卵に成功しており、その受精卵産子が栃木県の枝肉共励会でBMS　No.12を獲得しています。現在までに3頭のBMS No.12が出ています。またOPUの新鮮卵移植にも挑戦しており、OPUを行ってから8日後に移植するというスタイルを取っています。清一社長は「自分が欲しい血統も様々ありますが、安定して採卵でき、お客様が扱いやすく、売りやすい血統を揃えるように心がけています。新鮮卵移植はやはり受胎率が高いので、今後は酪農学園大学との連携を深めながら“キムラファーム繁殖チーム”を結成し、NOSAIさんや開業獣医さんも巻き込んでこの地区で新鮮卵移植を推進していくことができたら、預託・育成牧場としてだけではなく地元密着型ETセンターとして地域に貢献できるのではないかと考えています。受胎率を上げる為に新鮮卵移植にこだわって


採卵・検卵施設

採卵・移植に関してできることは全てやっていきたいし、個人としてどこまでできるのかの挑戦もしていきたいですね。」と将来のビジョンを話してくださいました。

【農業生産法人 キムラファーム株式会社の歴史】

この地を開拓し酪農を始めたのは、祖父の木村幸次郎さん。そこへ種子島出身で自衛隊に勤務していた父の清美さんが婿養子として入りました。清美さんは当初森永乳業（株）での搾乳作業も行っていましたが、途中から木村牧場を搾乳からF_1とホルスタインの肥育に切り替えました。当時全国畜産農業協同組合連合会の預託兼肥育も行っており、道内の枝肉共励会でF_1もホルスタインも名誉賞を取るという素晴らしい実績を残されています。しかし父、清美さんが46歳の時に脳梗塞を発症。重労働が難しくなりました。当時18歳だった清一社長は、親戚から離農を勧められたといいます。「当時父は莫大な額の借金を抱えていて牛の飼料も買えない状態でした。とわの森三愛高等学校の酪農経営学科を卒業してはいますが、もともと農家になるつもりはありませんでした。しかし父が作り上げたものを残し、大きくしたいという想いが強くなり、5年以内に父の借金を返済するという条件で牧場を続けました。」と話してくださいました。その後5年間で見事に借金を返済し、北広島市の酪農家の育成牛180頭を預かるようになってからがキムラファームの預託・育成牧場のスタートです。当初は預かった育成牛にはAIを行い分娩前に牧場に戻していましたが、石狩の酪農家の育成牛を預かるようになった時に黒毛受精卵の移植をしてほしいと依頼され、今のスタイルを確立しました。この頃から徐々にキムラファームに預けた牛は良くなるという噂が広まり、千歳・恵庭・由仁など近郊の酪農家さんから預かる頭数が増えていきました。更にちょうどこの時期に千歳開拓農協さんから離農農家の牛を販売してもらえないかと依頼をされ、父の清美さんが関西の業者に話を持ちかけたところ商談が成立し、購買した大規模酪農家から育成牛約50頭の預託と十勝市場で購買した初妊牛約100頭の管理を依頼されたことが府県からの預託を始めたきっかけとなりました。この出来事を皮切りに、関東・関西・九州からの預託依頼が増え続け、現在は九州から約150頭、関東から約600頭を預かり、新牛舎建設の噂を聞きつけては依頼が殺到している状態です。

【預託牧場としてのこだわりとやりがい】

清一社長にキムラファームとしてのこだわりとやりがいをお聞きしました。

「まず徹底していることは、導入時にはヨーネ・BVD・白血病の検査を必ず行うようにお願いしています。更にヨーネ病を発症したことがある農家さんからの受け入れはお断りしています。伝染病が一番怖いため、そこは徹底しています。キムラファームのモットーは、“とにかく牛を綺麗に扱う”ということです。汚れた状態で搬入されても牛を綺麗にしてから牛舎に入れ、床材を頻繁に交換し、常に綺麗な状態を保っています。また元の牧場に戻って分娩を終えた後、充分な乳量を出した上で受胎し、多くの子孫を残してくれる事がこちら側の願いですし、そういう状態を保たなければ牛が当牧場に帰ってこなくなってしまいます。預かった牛の産子の預託を依頼された時や、お客様の牧場を訪問させていただいた時に、預かっていた牛がまだ活躍している姿を見ることが一番嬉しいですし安心しますね。今後もこの喜びを忘れずに常に上を目指していきたいです。


牛舎外観


常に清潔な状態に保たれている牛舎

もう一つどんなに忙しくても行うようにしていることは、直接お客様と顔を合わせての情報交換です。預託・育成牧場は牛を預かりっぱなしになってしまうことが多いのですが、やはりこちらが足を運ぶことで生の声を聞いて、飼料や薬品の情報交換をすることでお互いに高めあっていくことができると考えています。またお客様側からの要望を吸い上げることもできますしこちら側の要望をお伝えすることもできるので、今後もこういった機会を大切にしていきたいですね。

さらにお客様との信頼関係の為に行っていることは、預託牛が死亡した際の徹底した原因究明です。当牧場では預託牛が死亡した場合、48ヶ月未満であれば全頭解剖を行います。原因が分からないまま死亡報告をしてしまっては何も解決せず、お客様側にも疑問が残ったままです。事故をなるべく減らし、起こったとしても信頼関係を崩さない事が大切だと考えています。

またキムラファームではあえて舎飼いにこだわっています。分娩を控えてお客様のもとに戻った時はフリーストール牛舎で生活することになりますので、育成の段階で慣れてもらいたいという考えがあるからです。蹄もコンクリートの床に合う形になりますし、キムラファームから戻ってきた牛は食い込みも良く、肢蹄も長持ちしているし屋根がある状況を怖がって股裂けになったりもしないとのお声をいただいています。床材を頻繁に変えなくてはならず経費も掛かるというデメリットはありますが、その手間で当牧場から戻った牛が長持ちしてくれるのであればより末永いお付き合いができますし、何よりお客様に喜んでいただけることがやりがいになっているとのことです。

この他にも採草作業や分娩時の牛舎巡回など、どんなに忙しくても、どんなに体調が悪くても必ず現場に顔を出すといったこだわりもお持ちです。場長さんは「社長であれば指示をしてどっしりかまえていても良いと思うのですが、当牧場の社長は先頭に立って真っ先に動くという強い信念を持っており、まさに現代の侍です。」と教えていただきました。

【キムラファーム 今後の夢】

今回取材させていただく中で、清一社長からたくさんの夢や目標を聞かせていただきました。まずは酪農にチャレンジしてみたいという目標です。恵庭には道東から牛乳を受け入れている加工場があり、1,000ｔ以上の安定した出荷量を確保できるのであれば恵庭で生産された牛乳も使用したいという声があります。地域を盛り上げるためにも1,000ｔの壁をクリアし、搾乳を行ってみたいと考え現在動いている最中です。さらにはこの地区を酪農畜産団地にしたいとも考えています。現在繋養している黒毛和種から雄が産まれたら一貫肥育を行っている畜産農家の雌と交換していますが、今後は雌が産まれたら採卵を行い、その後OPU、卵が取れなくなったら肥育に回すという循環型のスタイルを取っていきたいという構想があります。さらにはF_1の体内卵の作製も考えており、黒毛和種の管理が難しいお客様より低コストでの受胎を望まれるお客様へのニーズに応える方法も常に模索しています。清一社長は「どこの牧場もやっていないスタイルを確立してみたいですし、民間だからこそできることに挑戦したいというのが今の目標のうちの一つです。」と話してくださいました。

最も大きくて最終的なものは“キムラファームに預ければ受胎する”といった認識を全国的に広めたいという目標です。現在でも“日勝峠から南でキムラファームと言えば受胎させてくれる”と言われていると耳にすることもあるそうで、今後は実績と共に名前を広めていきたいということでした。清一社長は「将来的には社長として現場は従業員に任せたいというのが本音です。現在も信頼できる従業員と仕事ができていますし、社長は外交をし、お客様との信頼関係を深め継続的に預託していただくことが最大の仕事だと思っています。こちらも全力で取り組んでいますので、お客様側もぜひ健康的な状態で牛を預けていただき、飼料は何を与えていたのかといった情報の共有や、徐角済みの状態で預けるなどの基本的な部分を徹底していただければ、お互いにさらに高みを目指していけるのではないかと考えています。」と話してくださいました。

今後も酪農畜産農家の大規模化は進み、預託・育成牧場の重要性もますます上がってくることが予想されます。そんな中でただ育成牛を預かるだけではなく、“確実に受胎させて返したい”“帰った先で分娩を重ね活躍してほしい”といった明確な目標に向かって様々なビジョンを構築している清一社長は、今後育成牛の置き場に困る酪農畜産農家の強い味方になるだろうと確信しました。

業務多忙の中取材にご協力いただきました木村清一社長、従業員の皆様には感謝申し上げます。

（道央広域　大崎悠里）

2019年 ブラック&ホワイトショウ

「令和」になって最初の北海道ブラック&ホワイトシヨウは、例年通りに5月25～26日に安平町で開催されました。この時期の北海道としては、珍しく真夏のような好天気に恵まれて、出品頭数もジャージー種を含めて過去最高の313頭でした。

共進会審査結果

ホルスタイン種	クラス	名　　号	父	出　品　者
グランド・チャンピオン シニア・チャンピオン	14部	TMF　ナデイル　アツト　アンナ　エコー	アツトウツド	清水町　㈲田中牧場
リザーブグランド・チャンピオン リザーブシニア・チャンピオン	14部	アミダ　プリンセス　ゴールド　チツプ　ローザ	ゴールド　チツプ	陸別町　㈲編田牧場
インターミディエイト・チャンピオン	10部	エルムレーン　ゴールド　マツカチエン　パラダイス	スマツカチエン	恵庭市　㈲福屋牧場
リザーブインターミディエイト・チャンピオン	11部	クレイジヤスクルー　モンスター　ルーシー	ブレーク	置戸町　㈲小山牧場
ジュニア・チャンピオン	2部	バロンドール　ドアマン　メラニー　ET	ドアマン	別海町　菊地正明氏
リザーブジュニア・チャンピオン	3部	アーノルド　ドアマン　ベスト　ET	ドアマン	新ひだか町　佐々木克博氏

ジャージー種	クラス	名　　号	父	出　品　者
シニア・チャンピオン	21部	アサナベ　MT　ND　ルイス　ゴールド　パルルン	マーチン	広尾町　㈱エスティリアデイリーサービス
リザーブシニア・チャンピオン	21部	エムコラボ　GO　エグゼイド	マーチン	苫前町　中嶋　めぐみ氏
ジュニア・チャンピオン	19部	SF　ドレーパー　チエリー	ドレーパー	広尾町　㈱エスティリアデイリーサービス
リザーブジュニア・チャンピオン	20部	JーMEG　ハイガーンド　ラテ	ガン	訓子府町　森岡　えり子氏

プレミア・ブリーダー	恵庭市㈲福屋牧場
プレミア・エキジビター	清水町㈲田中牧場

第1回GH絵画コンテスト　展示





当団展示ブースにて、第1回GH絵画コンテストの入賞作品の展示を行いました。

今回展示したのは、【優秀賞作品】と「未就学児童・中高生の部」の作品でした。

B&Wシヨウ期間中に、多くの来場者が訪れ、特に子供連れの方や生産者の方々を中心に、展示された作品を興味津々に見ていました。

9月28日～29日に行われる北海道総合畜産共進会に、再び【優秀賞作品】と「小学生の部」の作品を展示する予定で、共進会に来られた際に、ぜひ当団ブースへ足を運んでください。

また、第2回GH絵画コンテストの作品をただいま募集していますので、たくさんのご応募、お待ちしています！（裏表紙の案内をご覧ください）

生産者表彰

今回のブラック&ホワイトシヨウにて、当団ジャージー種雄牛GHJE-4「ノースドリーム　GOGO　マーチン　ET」の娘牛2頭が「シニア・チャンピオン」及び「リザーブ・シニア・チャンピオン」に輝きました。

当団の褒賞規定（注）に基づき、この2頭の出品者に賞状および副賞を授与しました。

ジャージー種への褒賞は、当団では今回初めてです。改めてお二人様に感謝を込めて、お祝いを申し上げます。

（注：【家畜共進会入賞生産者表彰】当団種雄牛の娘牛等が、全道・全国規模の共進会に出品され、優秀な成績をおさめた雌牛を顕彰するものです。）

（事業推進部　唐紅熳）



ジャージー種　シニア・チャンピオン
左から 当団十勝北見明見所長、佐藤鈴菜ちゃん、
佐藤孝一氏、JA 広尾藤田拓矢主任



ジャージー種
リザーブ・シニア・チャンピオン
苫前町　中嶋めぐみ 氏

注目のカウファミリー　第40回

ロツクウ ボンバー ガール ET VG-85

写真1



今回は北見市（有）上野牧場で活躍し、現在NTP第1位の経産牛「ロツクウ　KB　ボンドガール」【写真4】を輩出した「ロツクウ　ボンバー　ガール」ファミリーを紹介します。ボンバーの母「ジエンアイベツク　シヨツテル　ボンビ　EX-94」【写真2】は世界を代表するシヨツテル娘牛の1頭です。更に遡ると名血ベイラー・トウワイン、ジプシー・グランドに繋がります。

※「シヨツテル ボンビ」ファミリーについては当連載第28回にて紹介しています。

当団では2009年に優良遺伝資源造成事業として当時LPI第2位のボンビからミリオンとマンオーマンを交配した受精卵を導入し、上野牧場でマンオーマン娘牛「ロツクウ　ボンバー　ガール　ET」【写真1】が誕生しました。ボンバーは日本で唯一のボンビ直系の娘牛になります。

写真4



ボンバーは初産305日　12,144kg　4.3F%　3.4P%と高い泌乳能力を発揮し、2013年5月評価にてNTP第203位で登場しました。その後、彼女は2014年11月評価から4期に渡ってNTP100位以内にランクインし、2015年2月評価では自己最高の第28位まで上り詰めました。初産分娩後、様々なヤングサイアによって採卵を行いモーグル、スーパーサイアー、デイ、マツカチエン娘牛を残しています。3産目の途中から採卵に専念し、これまでに18頭の娘牛と10頭の雄牛を授精所へ輩出しています。このように好繁殖性を示したボンバーは上野牧場を代表する一大ファミリーへと築き上げられました。

「ボンバー」ファミリーは高い泌乳能力に加え、「シヨツテル・ボンビ」ファミリー譲りの乳脂肪の改良に定評があり、ボンバーの娘牛達の検定成績を見ると軒並み乳脂肪率4.0%を超えています。また、中型サイズかつ胸が強く力強い充実したフレームと機能的な乳器が特長で、斉一性の高さは当ファミリーの遺伝伝達能力の強さを物語っています。2016年8月評価ではモーグル、スーパーサイアー、デイ、マツカチエンによるボンバーの娘牛4頭がNTP上位50位以内にランキングしました。

これらボンバー娘牛の中でも最も高い遺伝伝達能力を発揮しているのが「ロツクウ　MG　ボンビ　ET」【写真3】です。MG・ボンビは初産305日　10,567kg　5.1F%　3.5P%というファミリー譲りの驚異的な乳脂量を記録しました。彼女は2016年5月評価にてNTP第15位で登場して以来2018年12月評価までNTP100位以内を維持しています。

MG・ボンビの初産分娩の娘ボンドガールはキングボーイ×モーグル×マンオーマンという相性の良い掛け合わせから、2017年2月評価にて未経産牛GNTP第1位にとなり脚光を浴びました。その後経産牛としても2018年8月および2019年2月評価にて2期連続NTP第1位に輝き、その総合指数は最新の評価でNTP+4280と2位に300ポイントの差をつけています。ボンドガールは初産GP-83点（乳器84点）を獲得、305日　10,643kg　4.9F%　3.5P%ゲノミック評価通りの好タイプ・好成績を記録しています。

現在当ファミリーの高GNTP未経産牛は、MG・ボンビの孫に当たる「ロツクウ　フラズルド　ボージヨレ」が第71位と最も高く、次いでボンドガールの娘「ロツクウ　マグナス　ボンソワール　ET」が第153位です。また、「ロツクウ　オムブラ　バンビーナ」【写真8】は3歳7ヶ月VG-86点（乳器87点）を獲得し、ボンバーから3代連続、ジプシー・グランドから7代連続VG以上を達成しています。

ゴールデン ナショナルセールでも人気のファミリーの1つで、2015年には「ロツクウ　SF　ボンボン ET」が210万円、2016年は「ロツクウ　5G　ボナンザ　ET」が229万円、2017年は「ロツクウ　KB　ボンジヨルノ」が251万円と高額で売買されています。

ボンドガールは今年8月に2産目としてブーテイの分娩を控えており、更なる飛躍が期待されます。今後も日本を代表する「ボンバー」ファミリーから目が離せません。

系統図

♀ ブレイデール　ジプシー　グランド　VG−88（S：グランド）
♀ ブレイデール　ベイラー　トウワイン　VG−86（S：ストーム）
♀ ジエンアイベツク　チヤンピオン　バンビ　EX−90（S：チヤンピオン）
♀ ジエンアイベツク　シヨツテル　ボンビ　EX−94（S：シヨツテル）【写真2】
♀ ロツクウ　ボンバー　ガール　ET　VG−85（S：マンオーマン）【写真1】
　├♀ ロツクウ　フイービー　ボンバルデイア　GP−84（S：フイーバー）
　└♀ ロツクウ　KB　ボンバルデイーナ（S：キングボーイ）
　├♀ ロツクウ　MG　ボンビ　ET　VG−85（S：モーグル）　NTP＋3217　第58位【写真3】
　　├♀ ロツクウ　KB　ボンドガール　GP−83（S：キングボーイ）　NTP＋4280　第1位【写真4】
　　　├♀ ロツクウ　OB　ボーノ（S：バラード）　GNTP＋2614　第716位
　　　├♀ ロツクウ　マグナス　ボンソワール　ET（S：マグナス）　GNTP＋3039　第153位
　　　├♀ ロツクウ　マグナス　ボンソワール　02　ET（S：マグナス）【写真5】　GNTP＋2546　第871位
　　　└♀ ロツクウ　マグナス　ボンソワール　03　ET（S：マグナス）　GNTP＋2386　第1313位
　　├♀ ロツクウ　JR　ボルゲーゼ　ET　GP−82（S：ジエラール）【写真6】　GNTP＋2741　第488位
　　　├♀ ロツクウ　アウトラスト　ボローニヤ　ET（S：アウトラスト）　GNTP＋2741　第488位
　　　└♀ ロツクウ　フラズルド　ボージヨレ（S：フラズルド）　GNTP＋3231　第71位
　　├♀ ロツクウ　JT　ボニータ（S：ジエツト）　GNTP＋2828　第356位
　　├♀ ロツクウ　ANK　ボラーレ　ET（S：アナキン）　GNTP＋2624　第556位
　　└♀ ロツクウ　ANK　ボラーレ　02　ET（S：アナキン）　GNTP＋2831　第353位
　├♀ ロツクウ　DAY　バンビ　ET（S：デイ）VG−85　NTP＋2313　第1077位【写真7】
　　├♀ ロツクウ　オムブラ　バンビーナ（S：ブラウニー）VG−86　NTP＋2544　第534位【写真8】
　　　├♀ ロツクウ　ANK　バンビーノ　ET（S：アナキン）　GNTP＋2700　第556位
　　　├♀ ロツクウ　デルタワース　バンブルビーナ　A　フタゴ（S：デルタワース）
　　　└♀ ロツクウ　デルタワース　バンブルビーナ　B　フタゴ（S：デルタワース）　GNTP＋2610　第722位
　　├♀ ロツクウ　JD　バンブー　ET　GP−81（S：ジエダイ）【写真9】　NTP＋2577　第486位
　　　└♀ ロツクウ　DW　バブリー（S：デルタワース）
　　├♀ ロツクウ　スプリング　バンビ　ET　GP−81（S：アルタスプリング）【写真10】　GNTP＋2865　第311位
　　　└♀ ロツクウ　ビツグ　ババ　バレツト（S：ババ）　GNTP＋2872　第301位
　　├♀ ロツクウ　オムバラ　バンビ（S：バラード）
　　├♀ ロツクウ　アナキン　バンブルビー　ET（S：アナキン）
　　└♀ ロツクウ　HN　バンブルビー（S：ハイ ヌーン）
　├♀ ロツクウ　MC　ボンジユール　ET　VG−85（S：マツカチエン）【写真11】
　　└♀ ロツクウ　マグナス　ボンジユール　ET（S：マグナス）
　├♀ ロツクウ　SS　ボナベテイ　ET　GP−82（S：スーパーサイアー）
　　└♀ ロツクウ　オムバラ　ボナパルト（S：バラード）
　├♀ ロツクウ　GC　ボンジヨルノ　VG−86（S：ゴールドチツプ）【写真12】
　　├♀ ロツクウ　KB　ボンジヨルノ（S：キングボーイ）
　　　├♀ ロツクウ　バンダレス　ボンジヨル　ET（S：バンダレス）
　　　├♀ KTF　ボンビ　バンダレス（S：バンダレス）　GNTP＋2719　第529位
　　　├♀ ロツクウ　バンダレス　ボンジヨル　02　ET（S：バンダレス）　GNTP＋2548　第867位
　　　└♀ KTF　ボンビ　モントロス　ET（S：モントロス）
　　└♀ ロツクウ　ジヤコビー　ボンジヨルノ（S：ジヤコビー）
　├♀ ロツクウ　SF　ボンボン　ET　VG−85（S：スフイーダ）
　　├♀ コバリ　CG　ミクリ　バンビ　GP−83（S：キヤピタルゲイン）
　　├♀ コバリ　MS　メイプル　ボンビ（S：メガデユーク）
　　└♀ コバリ　ジエダイ　カズハ　ボンビ（S：ジエダイ）
　├♀ ロツクウ　SF　ボンボン　2　ET　GP−82（S：スフイーダ）
　　├♀ ロツクウ　KB　ボンツー（S：キングボーイ）
　　└♀ ロツクウ　モデスト　ボンニ（S：モデステイ）
　├♀ ロツクウ　SF　ボンボン　3　ET　GP−82（S：スフイーダ）
　　├♀ ロツクウ　MGY　ボンスリー（S：ヨダー）【写真13】
　　└♀ ロツクウ　ビツグ　ババ　ボンスリー（S：ババ）
　├♀ ロツクウ　DF　ボレアス　ET　GP−81（S：デイフエンダー）
　　└♀ ロツクウ　モントレー　ボレロ　GP−81（S：モントレー）
　　　└♀ ロツクウ　フラズルド　ボレアス（S：フラズルド）
　├♀ ロツクウ　5G　ボナンザ　ET（S：アルタ5G）
　├♀ ロツクウ　5G　ボヘミアン　ET GP-81（S：アルタ5G）
　　├♀ ロツクウ　MD　ボイト（S：メリデイアン）
　　├♀ ロツクウ　KR　ボーヤン（S：キングロイヤル）
　　└♀ ロツクウ　ビツグ　ババ　ボヘミアン（S：ババ）
　├♀ エリー　ロツクウ　モント　ボーナス　ガール　ET（S：モントレー）　NTP＋2268　第1221位
　├♀ ロツクウ　フラツグシツプ　ボヌール　ET（S：フラツグシツプ）
　├♀ ロツクウ　WB　ボルサリーノ　ET（S：ウインドブルツク）
　├♀ ロツクウ　モデスト　ボランチ　ET（S：モデステイ）
　├♀ ロツクウ　モデスト　ボランチ　02　ET（S：モデステイ）
　└♀ ロツクウ　モデスト　ボランチ　03　ET（S：モデステイ）


写真2


写真3


写真5


写真6


写真7


写真8


写真9


写真10


写真11

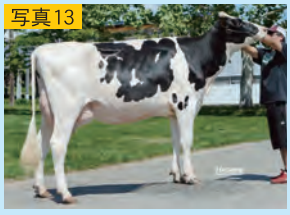


写真13


写真12

連載 第16回

卵胞ウェーブ（補遺）
妊娠・黄体期の発情と卵胞嚢腫

ジェネティクス北海道　顧問　髙橋（たかはし） 芳幸（よしゆき）
昭和50年　北海道大学大学院獣医学研究科修士課程修了、
　　農林省畜産局採用（農林技官）
昭和51年　農林省日高種畜牧場勤務
昭和58年　北海道大学獣医学部・助教授
昭和61年　獣医学博士（北海道大学）
平成10年　北海道大学大学院獣医学研究科・教授
平成24年　北海道大学特任教授、名誉教授
平成25年　現職

妊娠牛や黄体期の牛にも発情・発情徴候がみられることを連載第7回（サイア412号、2016年）に記載しましたが、妊娠牛や黄体期の牛に授精してしまうことも多いことが報告されています（図1）。また、「卵胞嚢腫」と呼ばれる大きな卵胞をもつ牛に遭遇する機会も多いようですので、卵胞ウェーブの補足資料として筆者のノートを紹介します。

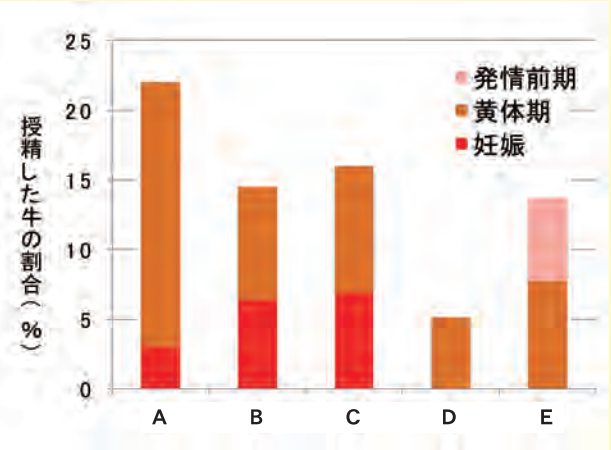


図1　人工授精を施した乳牛の中で黄体期、妊娠期、発情前期に授精した牛の割合
A: 24時間繋ぎ飼い（Ranasinghe et al, 2009）、B/C: 大学付属農場と一般の牧場（Sturman et al, 2000）、D: 初回授精の牛（10地区3.4～9.9%の平均値：Reimers et al,1985）、E: 北欧の牧場（Varia et al, 2017）。

1.黄体期の発情

人工授精時の乳汁中の黄体ホルモン濃度を測定した調査では、黄体ホルモン濃度が高く「黄体期」と判定された時期に授精した牛の割合は5～20%と報告されている（図1）。

黄体期に発情がみられる原因・機序は不明であるが、主席卵胞が成熟・発情卵胞のように卵胞ホルモンを多量に生産分泌して発情（発情徴候）を誘起すると考えると、黄体期の発情は「真の発情」の7～10日前後に多いことが想像される（図2）。黄体期に授精しても受胎しないので、授精後10～15日目（あるいは1周期後の30日前後）に「真の発情」がみられる（図3）。

黄体期に発情を示す牛の中で、「スタンディング（乗駕許容）」を示す牛の割合は5%前後である。しかし、周年繋ぎ飼いの状況では、「落着きがない、粘液・外陰部の充血・腫脹がみられる」など、発情の二次徴候（表1参照）だけで「発情」と判定されることになる。そのため、人工授精された牛の中で黄体期に授精された牛の割合が15～20%という報告もみられる（図1のA）。

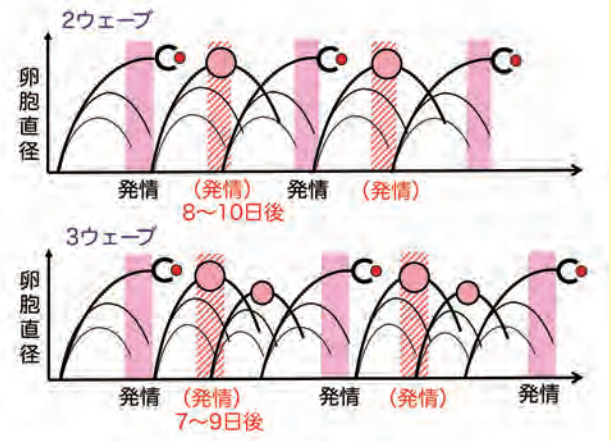


図2　発情周期における卵胞の発育・排卵と発情発現
2ウェーブと3ウェーブの卵胞ウェーブをもつ牛の主席卵胞とその他の卵胞の発育、ならびに「真の発情」の時期と「黄体期の（発情）」の時期を図示した。

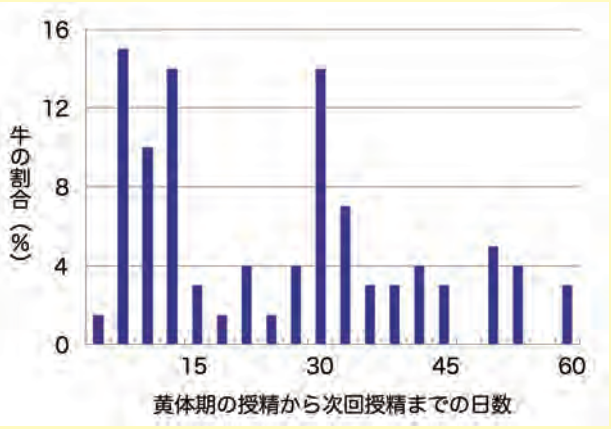


図3　黄体期に授精した牛の授精後の発情発現時期
乳汁中の黄体ホルモン濃度が高い時期（黄体期）に授精した乳牛の授精後の発情発現時期別の割合を示す（Reimers et al, 1985のデータを基に作図）。

表1　発情行動および発情徴候のスコアの例

外陰部からの頸管粘液あるいは咆哮	3点
落ち着きがなく歩き回る	5
他の牛に乗られるが逃げる（乗駕許容しない）	10
他の牛の外陰部の臭いを嗅ぐ	10
他の牛の後躯に顎をのせる	15
他の牛に乗駕しようとする	35
他の牛の前躯（頭）に乗ろうとする	45
スタンディング（乗駕許容）	100

Van Eerdenburg et al (1996)

2. 妊娠発情

古くから妊娠牛の3～8%は、発情（スタンディング：乗駕許容）を示すことが知られており、自然交配（まき牛）では5%前後の妊娠牛が雄牛の乗駕を許容すると報告されている。

多数の妊娠牛（ホルスタイン種）の受胎から分娩までの記録を分析した報告では、妊娠発情の発現率は妊娠回次によって違いがみられ、初回妊娠（始めて妊娠した未経産牛：4.4%）より妊娠2～6回目の牛（6～8%）の方が妊娠発情の発現率は高い（図4）。

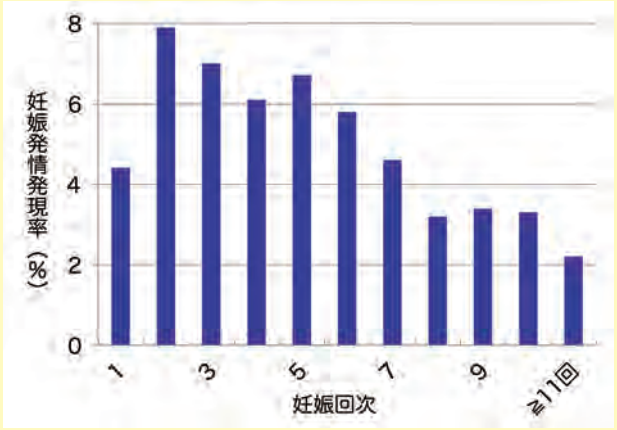


図4　妊娠回次別の発情を示した妊娠牛の割合
正常に分娩したホルスタイン種牛の記録を解析したErb & Morrison（1958)のデータを基に作図。

妊娠発情は妊娠初期に多くみられ（約40%は妊娠25日以内）、妊娠100日以降は少なくなる（図5）。これは妊娠期間中にみられる卵胞ウェーブの主席卵胞の大きさ（直径）に関連すると想像される。すなわち、妊娠90～120日までの主席卵胞の大きさは、発情周期中の主席卵胞や成熟卵胞と同程度であるが、それ以降は徐々に小さくなる（図6）。

なお、妊娠発情を示した牛の約20%は、複数回（2～8回）の発情が観察されている。とくに妊娠35日以内に妊娠発情を示した牛の55%は、分娩までの間に複数回の発情がみられている。

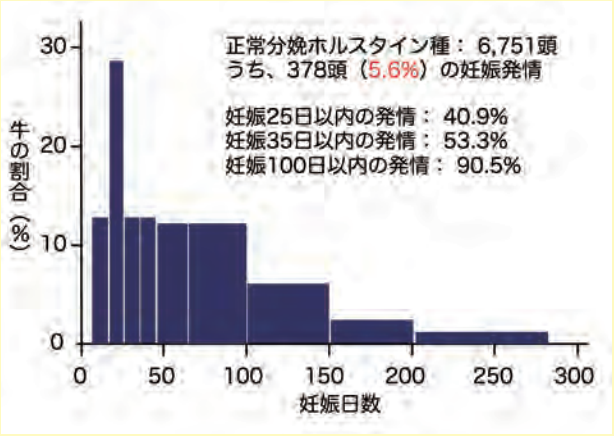


図5　ホルスタイン種牛の妊娠牛に発情がみられた時期
正常に分娩したホルスタイン種牛（378頭）の記録を解析したErb & Morrison（1958)のデータを基に作図。

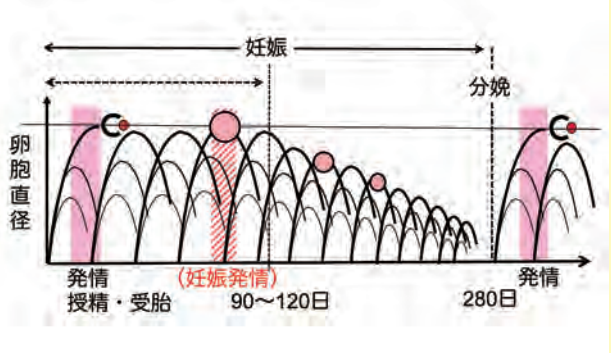


図6　妊娠牛における卵胞ウェーブの模式図
妊娠牛にみられる卵胞ウェーブの主席卵胞の大きさ（直径）は、妊娠90～120日までは、発情周期中の主席卵胞や成熟卵胞と同程度の大きさであるが、それ以降は徐々に小さくなる。Ginther et al. (1989;1996)のデータを基に作図。

3. 卵胞嚢腫

通常、直径25mm以上の卵胞が、黄体の存在しない状況下で、10日間以上存続しているものを「卵胞嚢腫」と定義している。また、直径25mm以上でも10日間以内に退行するような卵胞は嚢腫様卵胞と呼ぶこともある。

卵胞嚢腫の中には、①卵胞ホルモン（発情ホルモン）を生産分泌する機能を有するため発情が長い期間持続するものと、②発情ホルモンを生産分泌する機能が消失しているため、正常な卵胞ウェーブがみられ、主席卵胞が成熟・排卵するものがある（良性卵胞嚢腫）。また、③大きな卵胞が排卵せずに卵胞構成細胞が黄体細胞に変わった「黄体嚢腫」を加え、①～③を「卵巣嚢腫」と呼んでいる。「黄体嚢腫」は、黄体ホルモンを生産分泌し続けるため、卵胞ウェーブは観察されても主席卵胞が成熟・排卵しないので、「無発情」の状態が続く（表2、図7）。

表2　卵胞嚢腫と黄体嚢腫の分類と処置

分類	生産分泌ホルモン	GnRH投与効果	$PGF_{2\alpha}$投与効果
卵胞嚢腫（発情持続）	卵胞ホルモン	嚢腫卵胞黄体化	(−)
黄体嚢腫（無発情）	黄体ホルモン	(−)	嚢腫黄体退行
＊良性卵胞嚢腫（無発情）	(−)	嚢腫卵胞無反応共存主席卵胞‡黄体化	(−)

Fricke & Shaver (2001)の分類、処置を参考に作成。
＊良性卵胞嚢腫は、顆粒層細胞が退行変性しているので卵胞ホルモンを生産できない。また、約70%は正常卵胞ウェーブが共存しており、自然に消滅（治癒）する。
‡GnRH（性腺刺激ホルモン放出ホルモン）の投与により排卵・黄体化するのは、共存卵胞のうち顆粒層細胞に黄体形成ホルモン（LH）の受容体を有する主席卵胞だけである。

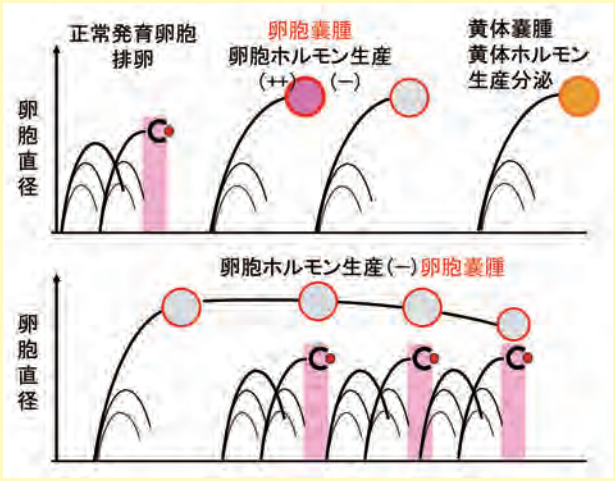


図7　卵胞嚢腫と黄体嚢腫の発生・分類・機能の概要
上図には、2種類の「卵胞嚢腫」と「黄体嚢腫」の機能、下図には卵胞ホルモンを生産分泌する機能が消失した「良性卵胞嚢腫」と共存する卵胞ウェーブの動態を図示した。

古くは、発情が持続する卵胞嚢腫①も多くみられたが、近年は良性卵胞嚢腫②の発生が多い。著者らがホルスタイン種牛について分娩直後から80～120日後まで卵胞の発育、排卵、黄体の発育を追跡調査した結果、分娩牛の10%に良性卵胞嚢腫がみられるほか、20%の牛に嚢腫様卵胞が観察された。

そこで、良性卵胞嚢腫のみられた牛のうち、4頭の牛の卵胞発育・排卵および黄体の発育動態について紹介する（図8）。

A～C牛では、分娩後の初回卵胞ウェーブの主席卵胞が直径40～50mmになり60～100日以上存続したが、分娩後40～50日には排卵がみられ、発情・排卵を繰返すようになった。

なお、A牛では初回の卵胞ウェーブの主席卵胞に加え、2回目のウェーブの主席卵胞2個も大型の卵胞に発育した。また、C牛では初回の排卵・黄体形成後にも大型の卵胞が観察され、初回排卵と2回目排卵の間隔が長くなった。

D牛では、分娩後2回目の卵胞ウェーブの主席卵胞が排卵、黄体を形成、その退行とともに発育した主席卵胞が直径50mmの大型卵胞になった。しかし、この大型卵胞は徐々に小さくなり、定期的に発情・排卵が観察されるようになった。

今回紹介したような「良性卵胞嚢腫」は、フレッシュチェック時あるいはその後の発情時に「卵胞嚢腫」と診断され、治療対象になることがあるかも知れない。しかし、大きな卵胞（卵胞嚢腫）が存在しても発情を繰返す牛の発情時に卵巣を精査すると、大きな卵胞（卵胞嚢腫）と正常な成熟卵胞が触知され、人工授精を施せば受胎することも知られている。

また、A牛やC牛はフレッシュチェック時に卵胞嚢腫と診断される可能性が高いが、その卵胞発育動態をみると、フレッシュチェック時にホルモン剤を投与しても効果のないこと、しばらく経過すると良性卵胞嚢腫は消失することが理解できる。

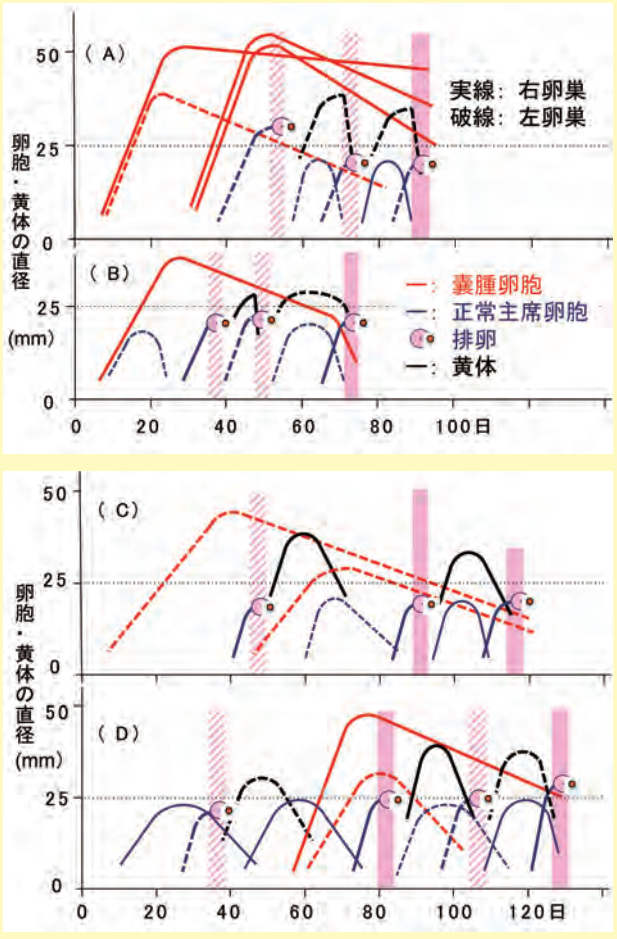


図8　分娩後に大型卵胞（良性卵胞嚢腫）のみられた牛の卵胞と黄体の発育動態
Sakaguchi et al (2006)のデータを基に作図。

亀谷と後藤が行く! Moo飲んだ? Moo食べた?

ケーキとクッキーのお店 あとりえYOU

大人も子供も大好きなお菓子といえば・・・そうプリンです!

今回はミルクにこだわったプリンを作っているお店、「あとりえYOU」さんにお邪魔しました。



札幌市街から車で15分ほどの場所に店を構える「あとりえYOU」さんはオープンして今年で22年。もともと料理が好きだったオーナーパティシエの鈴木さんは、お母様のパッチワーク専門店で出すおもてなしのお菓子を作る手伝いをしていたのをきっかけにお菓子作りを始め、その後札幌グランドホテルでの経験を経て、このお店を開いたそうです。


オーナーパティシエ鈴木さん

ケーキやシュークリーム、クッキーなどたくさんの種類の商品がある中、一番目を引くのが「バケツプリン」。見た目だけではなく、500ccとその容量の大きさは、プリン好きにはたまりません。この「バケツプリン」が誕生したきっかけを鈴木さんにお伺いしました。



(左)バケツプリン (右)うし牛乳プリン

最初は10年程前に1ℓのホーローのお鍋を使ったお鍋プリンを作っていましたが、ホーロー鍋が手に入らなくなったときにバケツ型のプリン容器が存在することを知り、「バケツプリン」ができたそうです。そして、このバケツプリンに使われているミルクはノンホモ低温殺菌牛乳で、7〜8年前に当時は珍しいロボット搾乳を導入した牧場で運命的な出会いをし、使用することになったそうです。このミルクを使ったプリンの特徴は、表面にできる脂肪分の層。ということで実際に試食してみました。とってもなめらかで濃厚なミルクの味が感じられる表面と、中のあっさりしているけれどもコクがありトロっとした食感の層、2層の味を楽しむことができます。また、甘さ控えめなのでいくらでも食べられます。バケツは大きすぎて食べきれない・・という方は、小さいサイズもありますのでご安心ください。また、容器はかわりましたがお鍋プリンも販売されていて、こちらはバケツプリンとは違うミルクを使っており違った味を楽しめるため、お客様の好みで選んでもらいたいという鈴木さんの思いが込められています。

鈴木さんはほかの商品にも北海道産にこだわっていて、原材料だけではなく旬な果物を使ったその時期一番おいしいケーキを提供しています。常に流行や新しい材料を追求して商品を考えていらっしゃる鈴木さん。今まで作ったケーキはその数300種類ほど!毎度同じ商品があるとは限らないので、訪問する楽しみもあります。また、クッキーはとても可愛らしく、特にパンダやウサギなどの動物クッキーはお子さんにも大人気!プレゼント等などにもオススメです。夏の期間はプリンと同じノンホモ低温殺菌牛乳を使ったソフトクリームも販売しているそうですので、皆さんも足を運んでみてはいかがですか?


動物クッキー

ケーキとクッキーのお店 あとりえYOU
住所 札幌市中央区南20条西12丁目1-26
営業時間 10：00〜売切れ次第
定休日 毎週月曜日
HP https://atelieryou1996.com/

平成30年度生涯能力優秀雌牛に楯を贈呈しました

家畜人工授精事業体協議会（JAAB）事務局

家畜人工授精事業体協議会（JAAB）では、平成30年度の生涯能力優秀雌牛に顕彰楯を贈呈しました。

生涯能力優秀雌牛とは、国産種雄牛（会員所有牛）により生産された検定牛のうち、検定記録と体型審査情報が、以下の条件を満たしたものです。

生涯能力優秀雌牛には、写真の楯を贈呈し、国産種雄牛精液ご利用による雌牛生産に対する感謝をするとともに日頃の飼養管理に敬意を表させていただきました。

本年度では、350頭がその対象となりました。おめでとうございました。



顕彰楯

別表1.　都道府県別内訳

都道府県	戸数	頭数
北海道	153	225
青森県	1	2
岩手県	8	15
宮城県	4	5
秋田県	1	2
山形県	1	1
福島県	1	1
茨城県	4	6
栃木県	4	5
群馬県	10	11
埼玉県	1	3
千葉県	5	7
新潟県	3	6
山梨県	1	1
長野県	3	4
岐阜県	1	1
愛知県	3	6
京都府	1	1
大阪府	1	1
兵庫県	2	2
鳥取県	2	2
岡山県	5	7
山口県	1	1
徳島県	1	1
愛媛県	3	3
高知県	1	1
福岡県	8	12
熊本県	9	11
大分県	1	1
宮崎県	4	5
沖縄県	1	1
都府県計	91	125
全国合計	244	350

顕彰条件

1. 平成30年1～12月の間に乾乳報告があり、生涯乳量5万キロ以上
2. 体型得点85点以上
3. 上記の雌牛を飼養する検定農家

別表2.　顕彰対家牛の多い種雄牛内訳（対象牛4頭以上の種雄牛）

略号	父牛名号	頭数
JP3H53584	ミツドフイールド　ＣＣＭ　アイオーン	42
JP4H53351	ライブストツク　モンブラン	29
JP5H53241	ＮＬＢＣ　エルフイン　マセラテイ　ＥＴ	25
JP3H53008	サンデイバレー　ブルーブラツド　ＥＴ	16
JP5H52850	テイーウエーブ　ホリ　フリスキー　オール　ブラツクス	14
JP5H52930	コムスター　リヴエレスト　ＥＴ	10
JP4H53508	ストレチア　ミラクル　ジヤステイス　ＥＴ	10
JP3H53364	ハピイイースト　アール　エス　テンプター　ＥＴ	10
JP4H54121	トツプジーン　ゴールド　オア　ＥＴ	7
JP3H53306	レデイスマナー　テンプトレスト　ハイデン　ＥＴ	6
JP3H53440	ＨＥＦ　ジヤステイス　ネオ　ＥＴ	5
JP3H53010	スプリングヒルオー　テイー　ラウンドアツプ	5
JP3H53959	ヘンカシーン　ゴールド　ドリーム	5
JP5H52428	ハツピーライブ　ＢＷ　アニー　ＥＴ	5
JP3H53655	エンドレス　ジアンビ	4
JP5H53562	オーケーフアーム　ハート　ランカスター　ＥＴ	4
JP3H52603	クリーク　ＢＷＭ　ダンデイ　ＥＴ	4
JP3H53999	ジレツト　テイーウエーブ　スパークリング　ＥＴ	4
JP3H53998	ジレツト　テイーウエーブ　スプラツシユ　ＥＴ	4
その他		141
合計		350

2019年度前期
新規現場後代検定実施種雄牛の紹介

当団では、黒毛和種種雄牛能力評価の為に公益社団法人全国和牛登録協会の和牛産肉能力検定現場後代検定法（以下：現場後代検定）による年間8頭の種雄牛の現場後代検定を実施しています。
2019年度前期分の現場後代検定実施種雄牛を2回に分けて紹介させていただきます。

H 黒-319

黒原 6224　平成29年8月25日生
得点84.8点　生産者：北海道　井田 拓次

拓忠平 【タクタダヒラ】

- 拓百合
  - 百合茂
    - 平茂勝
    - ことひめ
      - 安平
  - あくび
    - 勝忠平
      - 平茂勝
      - まこ
        - 安平



母「あくび（父：勝忠平）」は初産の去勢牛（父：安福久）で格付A-5、BMS No.12、枝肉重量556kg、ロース芯面積72㎠を記録し、2産目の雌牛（父：金照）では格付A-5、BMS No.8、枝肉重量505.6kg、ロース芯面積62㎠を記録している高能力繁殖雌牛です。
その母に当団繋養種雄牛である「拓百合（父：百合茂）」を交配した本牛は、増体と肉質の改良に期待する気高系種雄牛です。
本牛は発育良く、体伸に富み、均称、品位、後躯、肢蹄、骨味に優れた種雄牛です。

H 黒-321

黒原 6225　平成29年9月23日生
得点83.3点　生産者：北海道　平尾 博

博紅葉 【ヒロモミジ】

- 勝早桜5
  - 勝忠平
    - 平茂勝
    - なつ
      - 安平
  - ふくもみじ
    - 福桜(宮崎)
      - 隆桜
      - ひらもみじ
        - 平茂勝



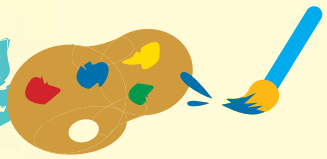
母「ふくもみじ（父：福桜（宮崎））」は、北海道育種価脂肪交雑順23位（平成29年7月評価）にランクし、北海道を代表する高育種価繁殖雌牛である「もみじ」を祖母に持ちます。3産目の雌牛（父：安福久）で格付A-5、BMS No.12、枝肉重量486kg、ロース芯面積88㎠を記録し、第50回「名人会」肉用牛枝肉研究会で優秀賞1席を獲得し、5産目の去勢牛（父：茂洋）では格付A-5、BMS No.12、枝肉重量660kg、ロース芯面積80㎠を記録したほか、BMS No.二桁の枝肉を2頭輩出するなど、全ての産肉で上物の産肉成績を記録しています。
その母に当団を代表する種雄牛である「勝早桜5」を交配した本牛は、産肉能力、増体能力の改良に期待する種雄牛です。
本牛は発育、骨味が良く、体上線が強い「勝早桜5」の後継種雄牛です。

2019年度（第35回）
家畜(牛)人工授精に関する講習会修業試験合格者

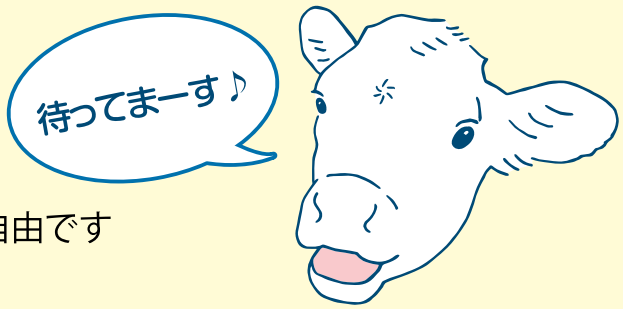
令和元年5月13日から6月7日の間実施した牛に係る家畜人工授精に関する講習会で、次の方々が修業試験に合格されました。

阿部　義治	工藤　美穂	重田　彩加	遠國　大地	根岸　孝次	森山　侑愛
天野　雄斗	佐々木 太成	島崎　泰芳	豊岡　賢成	野村　夏樹	八木田 伸也
大坂　高広	佐々木 靖史	清水　春樹	中島　　陸	番場　郁美	山中　裕希
小野　智央	算用子 楓太	首藤　直紀	長島　正典	星　　咲妃	吉田　　豊
川端　武史	志賀　一吉	出口　淳也	奈良 紗莉那	宮田　和真	吉原　浩史

「第2回ＧＨ絵画コンテスト」



「第2回ジェネティクス北海道絵画コンテスト」が開催されます！
ただ今、作品を大募集していますので、ぜひご応募くださ～い！



＊応募者対象：18歳以下
＊応募期間：令和2年3月13日（金）必着
＊作品について：
① ＜テーマ＞「牛」
② ＜表現材料＞素材・彩色・画材などの作画方法は自由です
③ ＜様式＞●大きさ：A4、A3、四つ切りの3サイズ
●用紙：画用紙
④ ＜応募方法＞氏名、年齢、性別、住所（学生は学校名）、電話番号、作品名を作品に添えてご応募ください。
＊送付先：〒060－0004 札幌市中央区北1条西4丁目1番地北農ビル13Ｆ
（一社）ジェネティクス北海道 事業推進部宛　郵送でお願いします。
＊審査＆発表：
①本誌表紙の作者でもある画家の冨田美穂さんが最終審査に参加してくださいます。
②入賞された方には3月中に景品を進呈いたします。令和2年5月号の本誌にて入賞作品をご紹介します。（景品の内容は本誌9月号にてお知らせします）
③入賞作品を令和2年5月の北海道Ｂ＆Ｗショウおよび9月の北海道ナショナルショウの当団ブースで展示いたします。また、当団ホームページでもご紹介いたします。
＊その他：応募作品は基本的に返却いたしません。

一般社団法人
ジェネティクス北海道
GENETICS HOKKAIDO assoc.
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F
https://www.genetics-hokkaido.ne.jp →

事業推進部
〈情報企画課〉
TEL(011)242-9645
FAX(011)242-9651
〈乳牛改良課〉
TEL(011)242-9646
〈肉牛改良課〉
TEL(011)242-9647

●道北事業所……TEL(0166)57-6111　FAX(0166)57-6113
●道東事業所……TEL(0153)72-4554　FAX(0153)72-1325
●道央広域事業所 道央　TEL(011)375-4422　FAX(011)375-4411
広域　TEL(011)375-4395（都府県 担当連絡先）
●十勝北見事業所……TEL(0156)63-3838　FAX(0156)63-3839
●十勝清水種雄牛センター…TEL(0156)62-2158　FAX(0156)62-2150
●道央種雄牛センター…TEL(011)375-3939　FAX(011)375-2330